各種予防接種のお知らせ

問い合わせ　保健相談センター　☎875-2100

高齢者の肺炎球菌予防接種のお知らせ

現在実施中である「高齢者の肺炎球菌ワクチン」の接種費用一部助成期間は平成25年２月28日までです！期間を過ぎると全額自己負担になります。接種をご希望の方は早めに受けましょう。

肺炎で亡くなる人の多くは高齢者です。肺炎の原因となる菌のうち、重症化しやすいものが肺炎球菌です。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌が原因の感染症の80％に効果があるとされ、肺炎、気管支炎など様々な感染症を予防したり、重症化を防いだりします。

対　象　者	①後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方 ②75歳以上で、生活保護を受給されている方 ただし、①または②に該当する方で、過去５年以内に肺炎球菌ワクチン接種を受けた方は対象外です。また、脾臓摘出された方は高齢者肺炎球菌ワクチン接種に健康保険等が適用されます。
費　　用	5,000円程度（接種料金7,847円のうち、市が3,000円を助成します） ※生活保護受給者は接種を受ける医療機関へ「生活保護受給者証明書」を提示すれば無料です。 〈注意〉当日、体調不良等で接種できなかった場合は（生活保護受給者も含め）1,050円の自己負担が発生します。

子宮頸がん予防ワクチン接種のお知らせ

子宮頸がん予防ワクチンの接種費用助成は、平成25年３月31日までです。期間を過ぎますと、接種費用が全額自己負担になります。早めに受けましょう。

近年、20代後半から30代の女性の子宮頸がん発症率が増加傾向にあります。日本では１年間に約8,500人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,500人が死亡しています。子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウィルス（ＨＰＶ）の感染で、多くは性交渉により感染します。コンドームも感染予防の１つですが、手や指を介して感染することもあるため予防接種を受けることが大切です。ワクチンは下記の２種類で、**いずれかのワクチンを３回接種することで約70％の子宮頸がんを予防でき、20年以上予防効果が持続するといわれています。**

対　象　者	・中学校１年生相当（平成11年４月２日～平成12年４月１日生） ・中学校２年生相当（平成10年４月２日～平成11年４月１日生） ・中学校３年生相当（平成９年４月２日～平成10年４月１日生） ・高　校１年生相当（平成８年４月２日～平成９年４月１日生） ・平成23年度中に子宮頸がん予防ワクチンを１回目または２回目を接種している高校２年相当（平成７年４月２日～平成８年４月１日）
接種パターン	接種回数：３回 ※ワクチンは、サーバリックスとガーダシルの２種類あり、どちらかを半年間に３回接種します。**２種類のワクチン（サーバリックスとガーダシル）を交互に接種してはいけません。１回目に接種したワクチンを３回接種してください。** ※接種してから、次の接種までは一定期間を置く必要があります。詳しくはお問い合わせください。
費　　用	なし（１回約16,000円を公費負担します）

ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン接種のお知らせ

ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチンの接種費用助成期間は、平成25年３月31日までです。期間を過ぎると全額自己負担になります。早めに受けましょう。

毎年500～700人の子どもが細菌性髄膜炎にかかっており、原因の80％をヒブと肺炎球菌が占めているといわれています。ヒブと肺炎球菌は、髄膜炎だけでなく、肺炎、中耳炎、敗血症なども引き起こすことがあり、ワクチンを接種し、予防することが大切です。

対　象　者	生後２か月～５歳未満の者　（５歳の誕生日の前々日まで）
接種パターン	接種回数：１～４回（接種開始年齢により接種回数が異なります。初回接種が次の年齢の場合、示された接種回数が必要となります） 〈ヒブワクチン〉 初回接種 生後２～６か月児：４回接種 初回接種 生後７～11か月児：３回接種 初回接種　１～４歳　：１回接種 〈肺炎球菌ワクチン〉 初回接種 生後２～６か月児：４回接種 初回接種 生後７～11か月児：３回接種 初回接種　１歳　：２回接種 初回接種　２～４歳　：１回接種 ※接種してから、次の接種までは一定期間を置く必要があります。詳しくはお問い合わせください。
費　　用	なし　（ただし、指定医療機関以外で接種した場合は、全額自己負担となります）

麻しん・風しん混合ワクチン接種（ＭＲ）のお知らせ

今年度（平成25年３月31日まで）をもって、ＭＲ３期、４期の接種費用助成は終了します。対象の方は早めに受けましょう。

麻しん（はしか）は、非常に感染力が強い病気です。高熱と発疹がでるだけでなく、肺炎や脳炎を引き起こし、1,000人に１人の割合で命を落とすこともあります。さらに、発症後、10年程経ってから重い脳炎になり、後遺症が残ることもあります。

風しん（三日はしか）も発熱と発疹のでる感染症ですが、妊婦が妊娠初期にかかると、胎児が感染し、心臓の病気になったり、目や耳に障害が生じたりすることがあります。麻しんと風しんは特効薬がないだけでなく、手洗い・マスクのみでは予防ができないので、ワクチンを接種することが大切です。

対　象　者	下記のＭＲ１～４期のうちで、**合計２回の接種が必要**です。 【ＭＲ１期】　１歳児の間 【ＭＲ２期】　小学校就学前の１年間　（平成18年４月２日～平成19年４月１日生） 【ＭＲ３期】　中学校１年生相当年齢　（平成11年４月２日～平成12年４月１日生） 【ＭＲ４期】　高校３年生相当年齢　（平成６年４月２日～平成７年４月１日生） **※ＭＲ４期対象の方は、中学３年～高校２年の期間中にＭＲ４期をすでにで接種している場合があります。その場合は、追加接種は不要です。母子手帳で接種履歴をご確認し、過剰に接種を受けないようにしてください。** 浦添市では、上記ＭＲ１～４期の対象年齢外の方でも以下の年齢であれば、**平成25年３月31日までの期間は**、無料でＭＲを接種できます。未接種の方は早めに受けましょう。 **○ＭＲ１期を逃した方：２歳～幼稚園年長未満** **○ＭＲ２期を逃した方：小学校１年生～小学校６年生相当年齢の者** **○ＭＲ３期を逃した方：中学校２年生～高校２年生相当年齢の者**
費　　用	なし　※ＭＲ３期、４期の接種費用助成は、今年度で終了となります。